

1. 記事は藤井聡太さんが18歳1カ月の最年少で「棋聖」と「王位」の2つのタイトルを手にし、二冠を達成したことを取り上げています。藤井聡太さんが取り組んでいる競技は何でしょう。

将棋

2. 藤井聡太さんは、14歳2カ月でこの競技のプロになりました。プロになってから今回の「王位」のタイトルを手にするまで、何年と何カ月かかりましたか。

3年11カ月

3. 下の左は今回4連勝で二冠を達成した藤井聡太さんの話、右はこれまで二冠の最年少記録をもっていた羽生善治さんの話です。藤井さんの二冠達成について二人の感じ方のちがいを下にぬき出してみてください。

【藤井聡太新王位の話】

内容的には押されていた将棋が多かったと思うので、4連勝は望外というか自分の実力以上の結果だった。(王位獲得は)まだあまり実感はないが、7番勝負でいい経験ができた。今後に生かせるよう引き続き頑張りたい。

【羽生善治九段の話】

10代で複数冠を保持するのは空前絶後の大記録。一方で、昨今の藤井さんの充実著しい内容を見ると不思議ではない結果とも感じている。今後も将棋の進化のフロントランナーとして活躍されることを期待しています。

藤井聡太さん

二冠達成は **望外というか自分の実力以上の結果だった** と感じている。

羽生善治さん

二冠達成は **昨今の充実著しい内容を見てると不思議ではない結果** と感じている。

4. 藤井聡太さんは、最年少で二冠を達成したにもかかわらず、本文中の赤い囲みの部分や3の談話のように感じているようです。これを読んで、あなたが藤井さんの考えのすごいと思うことを書きましょう。

(自由記述)

.....

年 組 名前



最年少で二冠を達成し、記者会見で色紙を手にした藤井聡太新王位。20日午後、福岡市内のホテル

藤井 最年少二冠

18歳 11カ月 王位奪取、最速八段

(2020年8月21日付・岩手日報1面)

将棋の藤井聡太棋聖(18)は20日、福岡市で指された第1期王位戦7番勝負第4局で木村一基王位(47)を破り、4連勝で奪取、最年少の18歳1カ月で二冠となった。タイトル通算2期の規定により、最も若く八段に昇段した。八つのタイトルのうち二つを制し、高校生棋聖が棋界の頂点へ向けさらに前進した。【関連記事22面】

これをめぐって、最も若い二冠の記録は1992年、羽生善治九段(49)が作った21歳11カ月。最高の九段に次ぐ八段昇段は58年の加藤一二三・九段(80)の18歳3カ月、62年ぶりの更新となった。藤井新王位は愛知県瀬戸市出身の高校3年生。2016年、14歳2カ月の最年少でプロ入り、17年6月にはデビューから無敗で最多の29連勝を樹立した。今年7月16日の棋聖戦5番勝負に勝利し、最も若い17歳11カ月で獲得。詰め将棋で培った圧倒的な終盤の力は、随一を誇る。